



まるお

第19号

「命」・「健康」・「夢」

令和7年9月11日発行
文責：校長 吉田貢一郎

避難訓練を実施しました！

先週5日（金）に避難訓練を行いました。今回の訓練は、地震に対する訓練でした。生徒たちは真剣に取り組み、避難場所に逃げることができました。長崎県では地震がないと思われがちですが、年間平均30回ぐらい起きています。（長崎県地域防災計画より）しかし、震度5以上の地震がほとんどないため長崎は地震がないと思われがちです。みなさんは、将来、長崎から離れた先で大きな地震に合うかもしれません。「災害は忘れたころにやってくる」といいます。日ごろからの訓練が、きっと役に立つと思います。訓練の時に話をした、防災対策の基本「自助」「共助」「公助」は必ず覚えておいてください。ご家族でも緊急時の連絡方法について話し合っておいてほしいと思います。



「身近な中国を探す旅」の感想！

8月18日に行いました、「身近な中国を探す旅」の感想文を紹介します。みなさんよく感想が書けていました。各学年から1名ずつ紹介します。今号は、1・2年生です。3年生は次号で紹介します。

（1年生女子）



今回の研修旅行で初めて知ったことがたくさんありました。一番心に残っているのは、変面ショーです。一瞬でお面が変わるのがおもしろかったです。秘密には気づけなかったけど、また見に行きたいです。唐人屋敷跡地に「三つのお堂」があることを初めて知りました。「土神堂」「天后堂」「観音堂」を覚えておきたいです。「媽祖様」という神様が真ん中にいて、門が三つあることが分かりました。砂糖文化を広めたシュガーロードも初めて知りました。孫文・梅谷庄吉ミュージアムに行っておどろいたことは、建物がとても古かったことです。1904年からそのままになっていてとてもすごいと思いました。新地中華街の門には秘密があってすごいと思いました。東西南北に道が分かれているのがおもしろかったです。次に行ったら、もっと見てみたいです。孔子廟には偉人の石像が72体もあってびっくりしました。しかも、一人ひとり持っているものが違ってすごいと思いました。ガイドさんが詳しくたくさん場所を教えてくださいましたので身近な中国を知ることができました。孔子廟について、もっと深く学びたいです。

（2年生女子）



私は、唐人屋敷跡では、長崎の歴史がすごくわかって、当時の中国人の生活を想像しながら散策することができました。特に3つの堂は、中国の宗教文化を伝えることのできる場所だと思いました。そして、8月18日には行けなかった眼鏡橋と崇福寺では、バスの移動中に説明していただき、よく知ることができました。眼鏡橋の近くには、黙子禅師の銅像があることを知り、崇福寺は長崎にある中国様式の寺院で、長崎と中国の交流が分かりました。最後に行った、長崎孔子廟では、変面ショーが中国の四川省川劇に伝わる伝統のある芸能だと初めて知りました。長崎孔子廟は、1893年（明治26年）に中国清朝政府と華僑によって建立されました。日本で唯一の本格的な中国様式の霊廟だということを知れてよかったです。

写真は偉人の石像の一部です。生徒たちは楽しみながら研修ができていました。（校長より）

写真は個人情報保護の観点から割愛させていただきます。申し訳ございません。ご了承ください。m()m